

# 不安を抱える妊婦等への分娩前ウイルス検査の助成スキーム

保険適用外

無症状だが不安を抱え、ウイルス検査を希望する分娩前の妊婦（概ね36週）

＜検査費用助成額＞  
検査費用（結果説明等を含む）は、  
9千円（税込）を上限として助成  
⇒超えた分は、妊婦が自己負担

妊婦から、かかりつけ産婦人科主治医へ相談

（例外）他県に里帰り等の場合、妊婦本人に償還払いも可

補助

【1】 ウイルス検査

かかりつけ医（産婦人科）  
※自院検査可の場合

または

かかりつけ医（産婦人科）  
※自院検査不可の場合

妊婦へ検査説明

⇒自院検査可：127機関  
（R5年1月31日時点）

コールセンターを本人に紹介

⇒自院検査不可：420機関  
（R5年1月31日時点）

検査申込・申請書受理  
（助成金の請求・受領を責任）

検査申込・申請書受理  
（助成金の請求・受領を委任）

検査場所調整依頼

検査機関の調整窓口・  
コールセンター  
（都事務委託業者）

都へ一括請求

自院検査  
（検体採取、検体検査）  
＜妊婦への結果説明＞

妊婦本人の検査費用を代理請求  
（申請）（上限9,000円）

検体採取、検体検査

調整・予約

⇒他院検査可：39機関  
（R5年1月31日時点）

他院検査  
（対応可能な協力産婦人科等）  
＜妊婦への検査説明、結果説明＞

東京都

左記の検査医療機関へ助成金を支払い

陽性の場合

発生届等

⇒R2年9月～R5年11月検査分の陽性者数：129人（検査件数30,345人、うち結果不明885人）

保健所

保健所、都庁整本館による入院調整

入院等

退院等

自院または周産期母子医療センター及び周産期連携病院等の医療機関へ入院

【2】 寄り添い型支援

専門職の訪問・電話等による寄り添い型支援（手引き13,14ページ参照）

対象

有症状で行政検査により、陽性となった妊婦

対象

陽性者以外の不安を抱える妊産婦（都で全域実施）